



今一度、収穫機の自己チェックを行ってみましょう!!

TPH7型編



①. キズ・打撲低減のための作業機チェックシート

部 位	理由	処置方法	写真No.	チェック	
第一コンベア	ボルガボード	破損（割れ、ヒビ）していないか。破損部分で芋に傷を付けることになり傷の原因となる。	交換		
	ヒレロッド	第一コンベアのヒレロッドが損傷していないか。芋が第一コン上で転がりやすくなり打撲の原因となる。	交換		
	第一コンベア	第一コンベアのベルトが摩耗していないか。側板との間隔が広がると芋や石を挟み、傷・打撲の原因となる。	交換		
	揺さぶりローラー	揺さぶりローラーは摩耗していないか。ローラーの凹部が深くなり凸部がロッド面より上に出て傷打撲の原因となる。	交換		
	堀取り刃	摩耗してすり減っていないか。	交換		
	石抜きロッド	石抜きロッドの螺番がむき出しになっていないか。損傷部に芋があたるとキズの原因となる。	交換・修理		
	茎葉ガイド被覆ホースの スナッピングローラー	被覆ホースが損傷していないか。金属部の露出で傷、打撲の原因となる。 スナッピングローラーは破損していないか。ゴム部が局部的に摩耗、損傷していると芋を引き込みやすくなる。	交換		
茎葉コン(カロス) 横送りコン	コンベアロッド	コンベアロッドの先（イボ部）が摩耗、損傷していないか。クッションの役割が減り、打撲の原因となる。	Assy交換・部分交換		
	毛ブラシ	毛ブラシローラーは摩耗していないか。弾力が減少し石除去能力低下により選別コンへの石の混入が増える。	交換		
		毛先に土の付着が発生すると増大し硬くなり芋に打撲を与える。	土付着除去・交換		
ロータリーバケット	緩衝クッションベルト	緩衝用のゴムベルトは適切に張っているか。伸びがあると緩衝の役目を果たさず打撲原因。	張り直し		
	被覆ワイヤー	被覆ワイヤーは緩んでいないか。芋が挟まり、芋同士がぶつかり合う。破損したワイヤー部に直接芋が接触する。	巻き直し・交換		
	ソフトセパレーターゴム	損傷していないか。クロスコンベアからの落下速度を吸収し衝撃を緩和できず打撲の原因。	交換		
	案内板	案内板が摩耗していないか。スリ傷の原因、また土が付着しスレ傷原因。	交換		
	案内板ボルガボード	ボルガボードは割れたりヒビが無い。損傷があるとスリ傷などの原因。	交換		
選別ローラー	FB保護ゴム	平鋼部緩衝用保護ゴムが取れたり損傷していないか。芋が直接、金属部分に接触し打撲の原因になる。	交換		
	選別ローラー	摩耗、損傷していないか。選別ローラーが尖っているとその部分で芋に傷、打撲の原因。	交換		
	ローラーパッキン	パッキンが損傷していないか。露出している角シャフトの金属部分で打撲する原因となる。	交換		
製品タンク	送りバー	送りバーを被覆している緩衝用ウレタン被覆材が損傷していないか。損傷があると直接芋に傷、打撲を与える。	交換		
	アルミバー	アルミバーのネオスポが損傷していないか。芋に直接金属部が当たり、打撲を与える。	交換		
	土の付着	タンク側板に付着した土で排出時に擦過が発生します。	土付着除去		
排出シュート	シュート	ズックが損傷していないか。破れていたり金属部が剥き出しの場合、打撲の原因となる。	交換・修理		

②. キズ・打撲低減のための収穫作業時の確認と対処法チェックシート

部 位	理由	処置方法	改良パーツ	チェック
圃場	土壌水分	土壌水分は乾性の場合、傷・打撲率が高くなる。	適正水分圃場で収穫	
	傾斜	極端な下り傾斜の場合、塊茎・土塊の上がりが多くなる。	片道掘り（登り）をする	
	第一コン上の土量	少ないとロールバックによる傷・打撲の原因となる。	回転↓作業速度↑深さ↓に調整	第一コンリモート操作
	培土削り	トラクターのタイヤで培土を潰したり傷つけること収穫時土量が減り傷・打撲の原因となる。	幅狭タイヤ(ローアップタイプ)装着	
	地温	地温10℃以上で収穫を行っているか	地温の確認、別圃場で収穫	
作業機の調整	コーンターの前	切り傷が発生していないか	深さ調整	
	掘取り刃		回転↓作業速度↑	第一コンリモート操作
	第一コンベア上	芋が転がっていないか(ロールバック)	土量確保、ゴブリ停止、ヒレロッド増	後付けラバーチューブ
	ロータリーバケット	第一コンベアからロータリーバケットに直接芋が落ちていないか	クロスコンを近づける	
	スナッピングローラー	芋を引き込んでいないか	茎葉ガイド、バネの調整	
	クロスコンベア	芋に勢いが付いてスピンしていないか	全体に回転を落とす	
	第一選別ローラー	第一選別ローラーから抜けた石が第一コンベア上の芋に当たっていないか。ローの先が尖っていないか。	ガイド取付	
第二選別コンベア		第二選別コンベアから勢いよく製品タンクに芋が落ちていないか	ヒレロッド増	転がり防止ラバー
		第二選別コンベアの先端高さが高すぎないか	油圧調整を適切に行う	
荷下ろし	シュート	落下高さなどを考慮せず使いにより芋に損傷を与えていないか	落差低減、バラ落とししない	巻上げシュート
	メインタンク	排出時のタンク傾斜を付けすぎて芋がタンク内で転がっていないか	角度に配慮	
	トラック輸送	振動を与えずに芋に損傷を与えていないか	慎重に運搬	

③. 改良パーツのご案内

巻上げシュート No.454890 	転がり防止ラバー No.454874 	第一コンリモート操作 No.454891 	ヘッチホックローラー No.454731 	案内板ボルガ No.454528・454529 	ローラーアーム200 No.454782・454783 	カロスコンベア No.454536
補助案内板 No.454519・454524 	クロスコン油圧駆動 No.454537 	土塊排出シュート No.454885 	後付けラバーチューブ No.454533 	第一コン減速クッション No.683003 	硬質白毛ブラシ No.454057 	コボレ止めゴム No.454525・454526

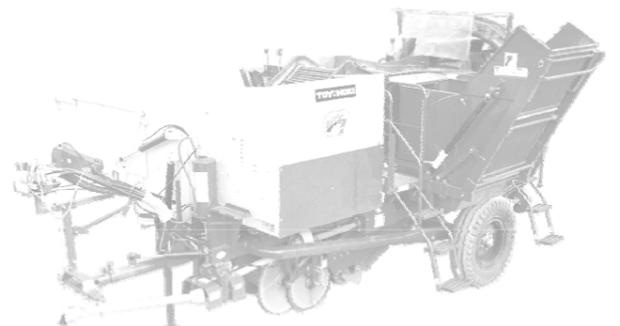
わたくしたちは、アグリパートナーです。



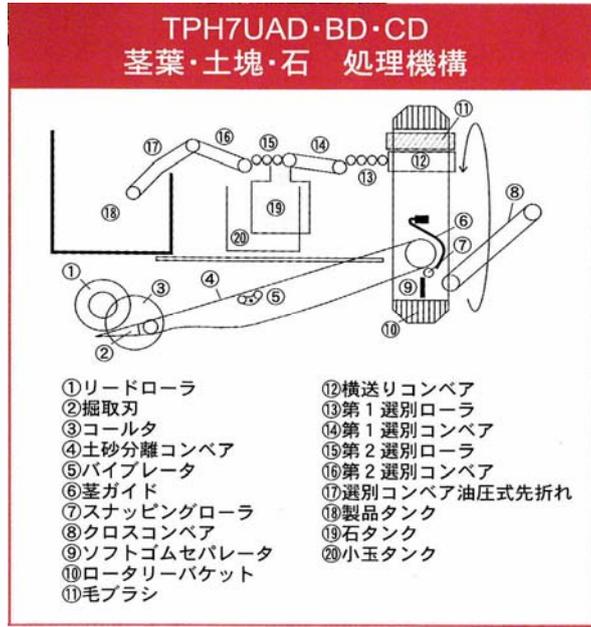
東洋農機株式会社

本社/〒080-2462 帯広市西22条北1丁目2番5号
TEL(0155)37-3191
FAX(0155)37-5399
http://www.toyonoki.co.jp

小清水営業所 〒099-3623 斜里郡小清水町字小清水131 TEL(0152)62-2309
美幌営業所 〒092-0027 網走郡美幌町字稲美220-14 TEL(0152)73-4158
美瑛営業所 〒071-0215 上川郡美瑛町扇町232番地 TEL(0166)92-1368
三川営業所 〒069-1144 夕張郡由仁町本三川674 TEL(0123)86-2436
倶知安営業所 〒044-0076 虻田郡倶知安町字高砂87番地 TEL(0136)22-2236
芽室センター 〒082-0017 河西郡芽室町東7条10丁目 TEL(0155)62-2633
寺平センター 〒080-1216 河東郡寺平町字土幌西2線170 TEL(01564)5-3506
野付センター 〒089-5235 中川郡野付町中央若葉町14 TEL(015)574-2887



ウルトラ7 キズ・打撲低減の点検ポイント



保守点検 ①グリスアップ箇所

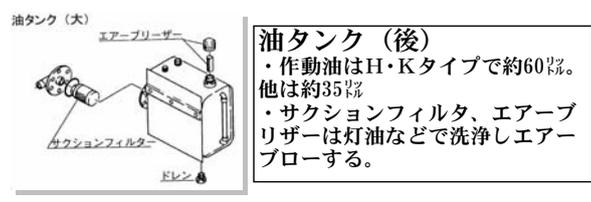
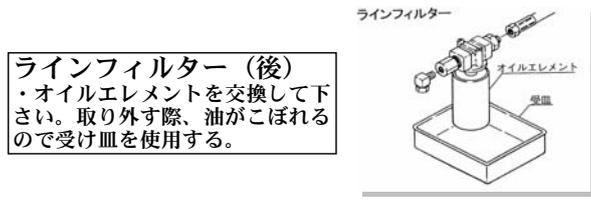
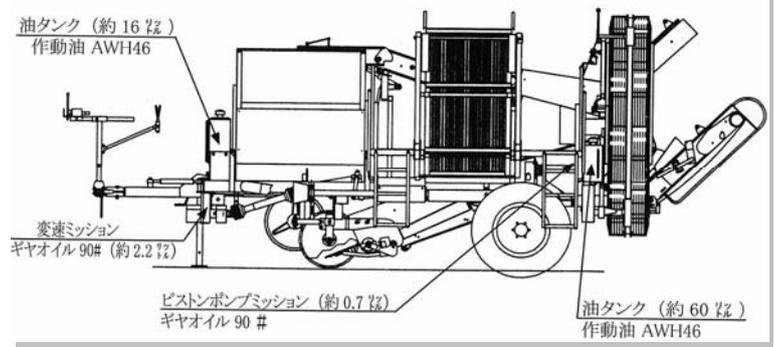
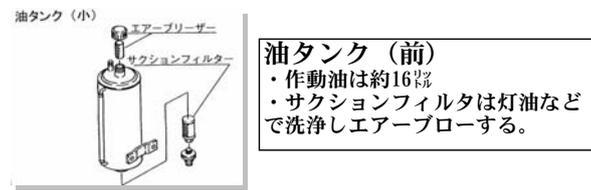
! 点検・調整・給油など保守点検時には作業機をトラクターから外し、動力を止め、平坦な安全な場所で行って下さい。
点検で外したカバーは必ず元通り取り付けて下さい。もし取り外したまま使用すると、回転物に巻き込まれ死傷することがあります。



保守点検 ②保守点検箇所

! ゴミは油圧の大敵です。配管やホース類を外した時、フィルターの清掃や交換を行うとき、作動油の交換時には特に管理に気をつけて行って下さい。

部位	点検内容
タイヤ	空気圧は0.29MPa～0.31MPa
ローラーチェーン	給油は一日一回、ローラーが湿る程度 一週間に一回、指で押してたわむ程度
グリスアップ	一日一回、グリスがはみ出る程度
Vベルト	一週間に一回、指で押してたわむ程度
ミッション	初期は50時間、以降250時間を目途に交換 良質のギヤオイル90 #相当
油圧オイル	初期は50時間、以降250時間を目途に交換 日本高潤AWH46相当 オイル交換時にはフィルター等の清掃または交換



作業に先立って

! 本格的な収穫作業前に試運転を行って下さい。PTO回転300rpm、速度0.8m/s程度で作業し、チェックシート項目を判断し、調節して下さい。

箇所	調整箇所・確認事項	チェック
作業速度	約0.4～1.5m/sの範囲で、圃場の条件に合わせて選定して下さい	
トラクターPTO回転	280～350r.p.mです。使用するトラクターによってエンジン回転が異なります	
セッティング	畦へ正しく機体がセッティングされているか	
調整	掘り取り深さは適正か？堀取り刃の角度は適正か？コールドタの深さは適正か？	
動力挿入	動力挿入軸は適正に選択しているか？	
第一コンベヤ	第一コンベヤの速度は適正か？パイプレーションの位置は適正か？	
茎葉処理	スナッピングローラ、茎葉ガイドの調整は適正か？	
選別ローラ	選別ローラの間隔は適正か？	